

第4 1 回田原市男女共同参画推進懇話会 議事録要旨

1 日 時	令和3年7月21日（水）午後3時30分～5時15分
2 場 所	田原市役所南庁舎6階 講堂
3 出席者	別紙「出席者名簿」のとおり
4 会議事項	1 あいさつ 2 会長・副会長の選任 3 オブザーバーあいさつ 4 議題 （1）令和3年度男女共同参画啓発事業（フェスティバル）について （2）生理の貧困について 5 その他 （1）各委員の取組状況・意見

会議内容要旨

事務局（松井企画課長）：会議資料の確認

1 あいさつ

○委員及び事務局自己紹介

2 会長・副会長の選任

決定事項

- 会長：森下静子委員
- 副会長：中西秀一委員

3 オブザーバーあいさつ

《要旨》

・リーマンショックは男性不況、コロナ禍においては女性不況が生じたと言われている。これまで男性稼ぎ手モデルの中で、男性の補助として女性は老人・子どもの世話を担ってきた。その陰で女性の稼ぎや自立は後回しにされてきたことが女性の貧困モデルとしてある。また、日本は居住支援等個人に対する公共的な福祉の整備が遅れており、常に女性が弱い状況が長く続いてきた。新型コロナウイルスの感染拡大により、雇用情勢の悪化を始め、DV相談、女性自殺者数の増加等の問題が発生している。DVは命に関わる問題であるため、女性支援の中でも最も重要な項目だと思う。DVと同様、性暴力の問題も重要で、現在性教育をテーマとする映画が上映中である。その映画がベルリンで賞を受賞したということは、性教育に対する問題に取り組まないといけないという気運自体が世界的に高まっているのを意味していると考えられる。生理の貧困では、スコットランドやニュージーランドでは生理用品が無償化されている。こうした世界的な流れの中で現在の日本の状況があると思う。すべての問題にジェンダーの問題が絡んでいると考えていきたい。

4 議題

(1) 令和3年度男女共同参画啓発事業（フェスティバル）について

○事務局：資料1について説明

決定事項

○フェスティバル部会長：永田みよ江委員

(2) 生理の貧困について

○事務局：資料2・5について説明

《委員からの質疑・意見》

- ・田原市の教育現場においても、トイレットペーパーと同様、自由に使える生理用品をトイレに設置してもいいと思う。性教育と併せて人権問題として考えていきたい。
- ・貧困の定義がよく分からない。生理用品を購入することに対して優先順位が低い人もいるのでは。中にはスマホや洋服にお金をかけて、生理用品なくてもいいという意識の人もいるのではと思う。
⇒貧困には絶対的貧困と相対的貧困があり、相対的貧困は7人に1人が該当すると言われている。
スマホを買うお金があるなら生理用品買えという意見もあるが、スマホは日本で生活していく上で必需品。生理は女性の体を管理する上で必要なものであるし、生理用品が保健室等公的な場所にあればもっと語られやすくなると思う。
- ⇒貧困の定義については今後明らかにしていけたらと思う。
- ・女性の性は卑しいものとして劣ったものとして、歴史的に長い間刷り込まれており、女性性の象徴の一つである生理も不浄のものと貶めている無言の感覚（無意識の偏見差別の元）を育てられていると思う。だから、なかなか口にできない、困っても人に堂々とお願ひできない、人に聞かれると恥ずかしい、相談しても聞いた人の反応によって苦しめられることがある。しかし、突破口として生理用品をターゲットに、現状の大きな問題点を明らかにして、多くの認知を得て、さらに行動が伴うような運動を巻き起こしていることはまず素晴らしいことと思う。と同時に、一過性で終わらないように、またそのことだけでピリオドを打ってしまわないように、深く変えていきたい。

5 その他

(1) 各委員の取組状況・意見

○各委員：資料3について説明

・清水委員

NHKのテレビ番組について

・太田としゑ委員

あかばねひらがなの会の活動報告について

・中西委員・永田委員

生理の貧困について

午後5時15分閉会